

この山に登ろう②②

比婆山連峰の名峰
草原とブナの森を楽しむ

吾妻山

1238.8 m

庄原市比和町森脇



池の原から吾妻山を望む

広島登山研究所 代表 松島 宏

比婆山連峰で最もファミリー向けの山といえは吾妻山です。比婆山の東の玄関、県民の森の六ノ原は標高が800mです。西の玄関、池の原は休暇村吾妻山ロッジを擁し、標高が1000mもあります(写真1)。目の前に吾妻山の頂上が見え、1時間足らずで山頂に立てます。ロッジ周辺は芝の草原が広がり、池が点在し、牧歌的でどかな風景です。

アプローチは庄原市から国道432号で比和町に向かいます。森脇から右に入り、ドルフィンバレイスキー場跡を経由して休暇村に上っていくのが一般的です。最後はブナの森の中を車で進みます。まずはロッジでトイレを済ませましょう。ここでは、宿泊、食事、

入浴ができます。キャンプ場、貸し別荘(コテージ)もあります。

ロッジの西側から登山道が始まります(写真2)。右手に池を眺めながら、左手の芝草の丘、小弥山(写真3)を経由して尾根に出れば第一ピークに着きます。素晴らしい展望が楽しめます。ここで一休みして頂上に向かいましょう。頂上は360度遮るものがない眺望が楽しめます。東には出雲烏帽子山から竜王山までの比婆山連峰が並び、直ぐ下には草原状の大膳原(だいぜんばら)が広がっています。西には切り立った尾根が顕著な猿政山が見えます。北東遙か彼方(たいせん)に大山が見える時もあります。登ってきた池の原も箱庭の様で素敵な眺めです。



斜線は磁北線 東西約500m間隔 長さ約1kmに設定



写真1：池の原とロッジ



写真2：吾妻山登り



写真3：小弥山

季節により花も咲き乱れます。春のイワカガミ、タニウツギ、レンゲツツジ、夏から秋のマツムシソウやトリカブト。花を楽しみにされる登山者も多く訪れています。

尾根を南に下って南の原経由で下山できます。時間があれば東の大膳原に下りてみましょう。素晴らしい気持ちのいいススキの大草原です。草原の北側にはブナの林があり、鳥根県奥出雲町のキャンプ場があります。100人位入れそうな木造の大きな山小屋があり、登山者に開放されています（写真4）。植物や花の写真も展示されています。きれいなトイレもあります。もう一歩足を伸ばして出雲烏帽子山や御陵（比婆山）まで行ってもいいですね、往復1時間を見てください。

さあ大膳原から南の原経由でロッジに帰りましょう。大膳原から登ってゆくと、右から、吾妻山から下りてきた道が合流します（写真5）。真っ直ぐ進み、素晴らしいブ

ナ林を堪能してください。南の原からロッジまでも樹高の高い鬱蒼とした原生林が続きます。大膳原から池の原の間はブナの原生林が満喫できます。池の原に近づくコテージやキャンプ場が現れてきます。道路に出て右に進むと、駐車場の先に美味しい水の湧き出る水場があります。吾妻山の湧き水です。ロッジに向かうと左右に池が現れます。左の池には鯉が沢山群れています。餌付けされているのが、人の気配で水面が盛り上がるくらい寄ってきます。こども達が鯉に触って遊んでいました（写真6）。

草原やブナの原生林、四季折々の花、素晴らしい山々の眺めと魅力満載です。休暇村吾妻山ロッジをベースに、ご家族で吾妻山の自然を楽しんでください。

休暇村吾妻山ロッジ→（60分）→吾妻山頂上→（30分）→大膳原→（40分）→南の原→（20分）→休暇村吾妻山ロッジ
所要時間 2時間30分

（まつしま ひろし）



写真4：大膳原山小屋



写真5：大膳原から吾妻山



写真6：鯉と遊ぶ